

久居八幡宮末社 野邊野稻荷社御造営

ご奉賛のお願い

当久居八幡宮境内の稲荷社はすでに江戸時代には鎮座したことが史料から判り、五穀豊穰、商売繁盛、各種産業の守護神、また「願かけ稲荷」とも称され現在に至るまで篤く信仰されております。

明治維新の後、久居藩江戸屋敷の櫻稲荷社をはじめ久居各町にお祀りされていた数多くの稲荷社がこの野邊野稲荷社に合祀され、御神光は一層輝き渡っております。

御社殿は、幾度に修理を重ねて参りましたが、周りの樹木が生い茂りその影響等に依り、御社殿と拝門の傷みは甚だしく、基礎が歪んでもはや修理が不可能な状態となっております。

この度、これまでの御神恩に報いるべく御社を新たに造営し、衣食住の神様とも言われる御祭神の倉稲魂命が御鎮まりいただくに相応しく調え、皆様がよりお参りしやすいよう御社殿を明治初年の境内図に則って参道に面する元来の向きに直し、周辺の整備も行なって参りたいと考えております。

落慶は令和八年三月二十一日（旧暦二月初午の日）の初午祭を目標として計画しております。

就きましては、尊い御神縁に結ばれ、大いなる御加護をいただかれますよう、皆様のご理解とご奉賛を心よりお願い申し上げます。

久居八幡宮 宮司 山中 理
氏子総代一同

尚、ご奉賛(一口 5000 円)のお申し込みは社務所へお越し下さい。ご奉賛頂きました方のご芳名は落慶の際に御神前にてお供え致します。